

2009年度 特定非営利活動法人浦和スポーツクラブ 社員総会 議事録

1 日 時 平成20年6月14日(日) 15時～16時40分

2 場 所 クラブハウス

3 出席者数 正会員 20名(内委任状4人)
正会員以外 8名

4 議事

- 一号議案 2008年度活動報告
- 二号議案 2008年度決算報告及び監査報告
- 三号議案 2009年度事業計画
- 四号議案 2009年度予算計画
- 五号議案 理事改選
- 六号議案 議事録署名人の選出

5 議事の経過概要及び議決結果

議事に先立ち、小野崎理事より本社員総会が正会員(29名)の過半数以上となる20名の参加(出席16名、委任状出席4名)を得て、成立する旨説明があった。

そして倉持理事長挨拶の後、議事を進行した。

一号議案 2008年度活動報告

配布資料に基づき、小野崎副理事長より総論を報告した後、各種目について担当する理事・スタッフから報告があった。

サッカー普及(広場)	中山
サッカー育成	柴田
サッカー生涯振興	大橋、青木
テニス	萩原
フィットネス	小野崎
星空	梶谷、村山

以上の説明後、出席者の賛成多数により承認を得た。

二号議案 2008年度決算報告及び監査報告

配布資料に基づき、小野崎副理事長より報告がなされた後、三戸監事より監査報告がなされた。

監査の際の補足的な注意事項として、以下の指摘があったことが紹介された。

- ・総会、理事会等の資料及び議事録を、クラブハウスで閲覧可能なように整理しておくこと。

これについて、小野崎副理事長より、今年度より改善し、一昨年程度までさかのぼり理事会資料等をファイリングした旨の報告があった。

その後、特に質疑はなく、出席者の賛成多数により承認を得た。

三号議案 2009年度事業計画

配布資料に基づき、小野崎副理事長より全体的な計画を紹介後、各担当理事等から事業計画の説明があった。

総論

- ・ totoの総合型地域スポーツクラブ活動助成の2年目を受けることができることとなった。助成を受けられる間に、会費による自立運営を達成しなくてはいけない。
- ・ フィットネスプログラムの全面改訂をふまえ、運営面で注意をしていかなければいけない
- ・ 来年度の20周年をひかえ、クラブのビジョンを再構築していきたい。

サッカー

- ・ 育成の会員増加と運営のめどをつけることが必要
- ・ 大藤氏を職員としたことで、運営面での強化を図りたい。

テニス

- ・ キッズテニス大会の第3回を10月31日に予定している。皆さんに手伝っていただきたい。
- ・ 会場の確保を図り、初心者クラスやジュニアの環境を充実していきたい
- ・ 北浦和の西口の小学校でキッズテニスを開始したい。

フィットネス

- ・ 体操広場では、高学年まで続けさせることに取り組む。
- ・ スタジオプログラムの会員の確保に力をいれる

その他

- ・ 文部科学省の調査研究事業の受託が内定した。県や大学、県内のクラブと連携して、良い成果を出して、地域スポーツクラブの存在価値を高めることに役立てたい。

以上の説明について、質疑は特になく、出席者賛成多数により承認を得た。

四号議案 2008年度予算計画

配布資料に基づき、小野崎理事より予算案を説明した。

これについて、以下のような質疑がなされた。

柴田

- ・ 今年度収支を当初からマイナスで見込んでいるが、この赤字分はどのように補填するのか。

小野崎

- ・ 前期の決算報告で説明したとおり、700万程度の現金資産があるので、これを用いていく。

青木

- ・ 今年度の収入について、フィットネスの会員確保の見通しはいかがなものか。これにより大きく収支が変わるのではないか。

小野崎

- ・会員が減ることは予想している。1クラス平均20名程度であったが、今回の予算では15～16名としている。今後、これを現況水準まで戻していく努力を、クラブとしてしないとイケない
- ・7～8月は夏休みで、もともと会員の出席状況が悪い時期である。したがって、この期間に新設のクラスの人数が少なかったとしても、拙速な判断で改廃等はしたくないと考えている。

青木

- ・繰越金について、目的を明確にする必要があるのではないか

三戸

- ・各種の助成などをもたらしている中で、繰越金があまり発生することは、いかがかという見方もされるのではないか

小野崎

- ・事業計画の中で説明したが、今年度、今後10年間で達成したいことを検討していくこととしている。
- ・例えば、totoの助成金等を使ってグラウンドやクラブハウスの整備をしたくても、自己負担分が必要である。こういったために資金をもっている必要がある
- ・これまで、将来像について明確な整理と共有化が図られていなかった。この数年間で大きく環境が変わる中では、そういうことが想像できなかったのではないかと。他のクラブの事例等が出てくる中で、会員の中でも少し意識を共有化していくことができるようになってきたと考えられるので、今年度ネクスト10をつくろうと説明させていただいた。

塩野

- ・今年度はマイナス予算であり、無理であるが、今後は、予算の中に「施設整備積み立て金」などの費目を立てて、計画的に積み立てをしていってはどうか。

小野崎

- ・ネクスト10の中で、もう少し具体的な数字を整理して、計画をたてていくこととする。

この後、出席者賛成多数により承認を得た。

五号議案 役員改選について

配布資料に基づき、小野崎副理事長より理事会案の説明があり、出席者賛成多数により承認を得た。また、選任された理事全員が就任を承諾した。

	(旧)		(新)
倉持守三郎	理事長	→	名誉顧問（特別職を新設）
戸苅晴彦	副理事長	→	理事長
塩野潔	副理事長	→	再任（副理事長）
小野崎研郎	副理事長	→	再任（副理事長）
萩原紀男	理事	→	副理事長
金子文明	理事	→	退任
池森俊文	理事	→	退任（2008年度総会で了解済み）
大橋正樹	理事	→	再任
清水恵二	理事	→	再任
伊澤浩助	理事	→	再任

佐藤勝利	理事	→	退任
三浦郁哉	理事	→	再任
山田結美	理事	→	退任
千装聡美	理事	→	退任
中曽根佐和子	理事	→	退任
柴田宗宏		→	新任 理事
生田目基		→	新任 理事
梶谷千恵子		→	新任 理事
鈴木公文		→	新任 理事
三戸一嘉	監事	→	再任
宮原正弘		→	再任

*宮原氏は、米国滞在中であり、8月に帰国予定。帰国後、所属先法人の承認を条件とする。

また、クラブ創設以来賛助会員として支援してくださっていた福島正道氏に相談役に就任いただくことについても承認を得た。

理由として、福島氏が見沼田んぼの利活用について種々の活動をされていることから、今後のクラブの展開について、ご相談にのっていただく機会が増えるものと考えている旨の説明があった。

六号議案 議事録署名人の選出

議事録署名人として、大橋正樹氏、生田目基氏の2名が推薦され、本人了承と出席者の賛成多数により選任された。

以上を持って、全ての議事を終了し、散会した。

以上

この議事録が正確であることを証します。

平成21年6月14日

議 長

議事録署名人

同